

4-10 通信衛星を利用した伊豆半島東方沖群発地震の観測

Seismic Observation of the Earthquake Swarm off East Coast of Izu Peninsula by Telecommunication Satellite System

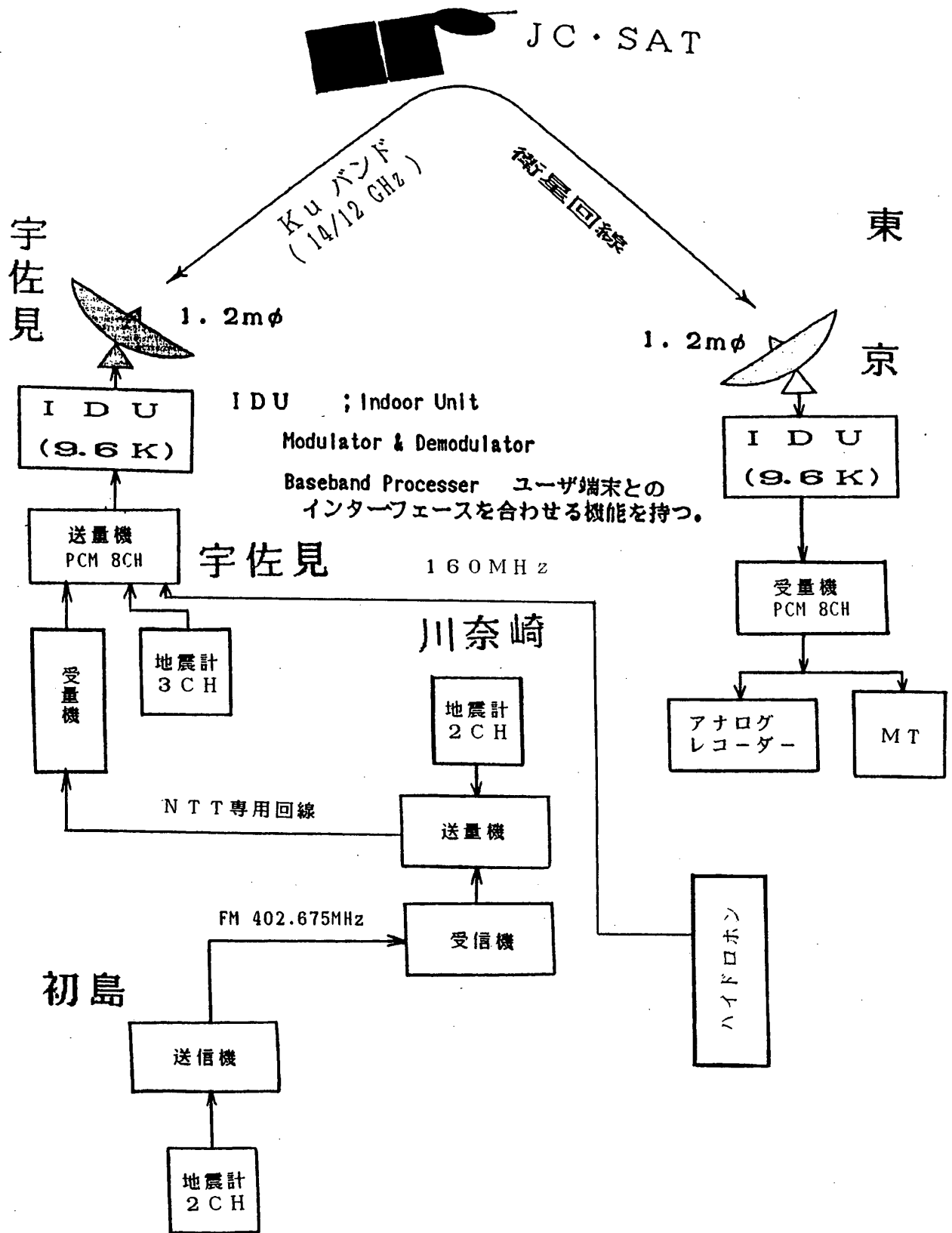
東京大学地震研究所 衛星通信地震観測実験グループ

Earthquake Research Institute, University of Tokyo
Experiment Group for Seismic Observation by Telecommunication System

臨時の試みとして、1989年7月24日から当分の間、伊東市周辺の地震波データを民間通信衛星を利用して本研究所へ伝送している。現地の観測点は初島、川奈崎、宇佐美、および噴火地点近傍である。現地の衛星中継基地は宇佐美に置かれている。初島のデータは無線で川奈崎へ、川奈崎から宇佐美へはN T T回線を用いており、噴火地点近傍のソナーブイからの信号は宇佐美に無線で転送されている。宇佐美基地と本所の間が9.6Kbitの衛星回線で結ばれている。

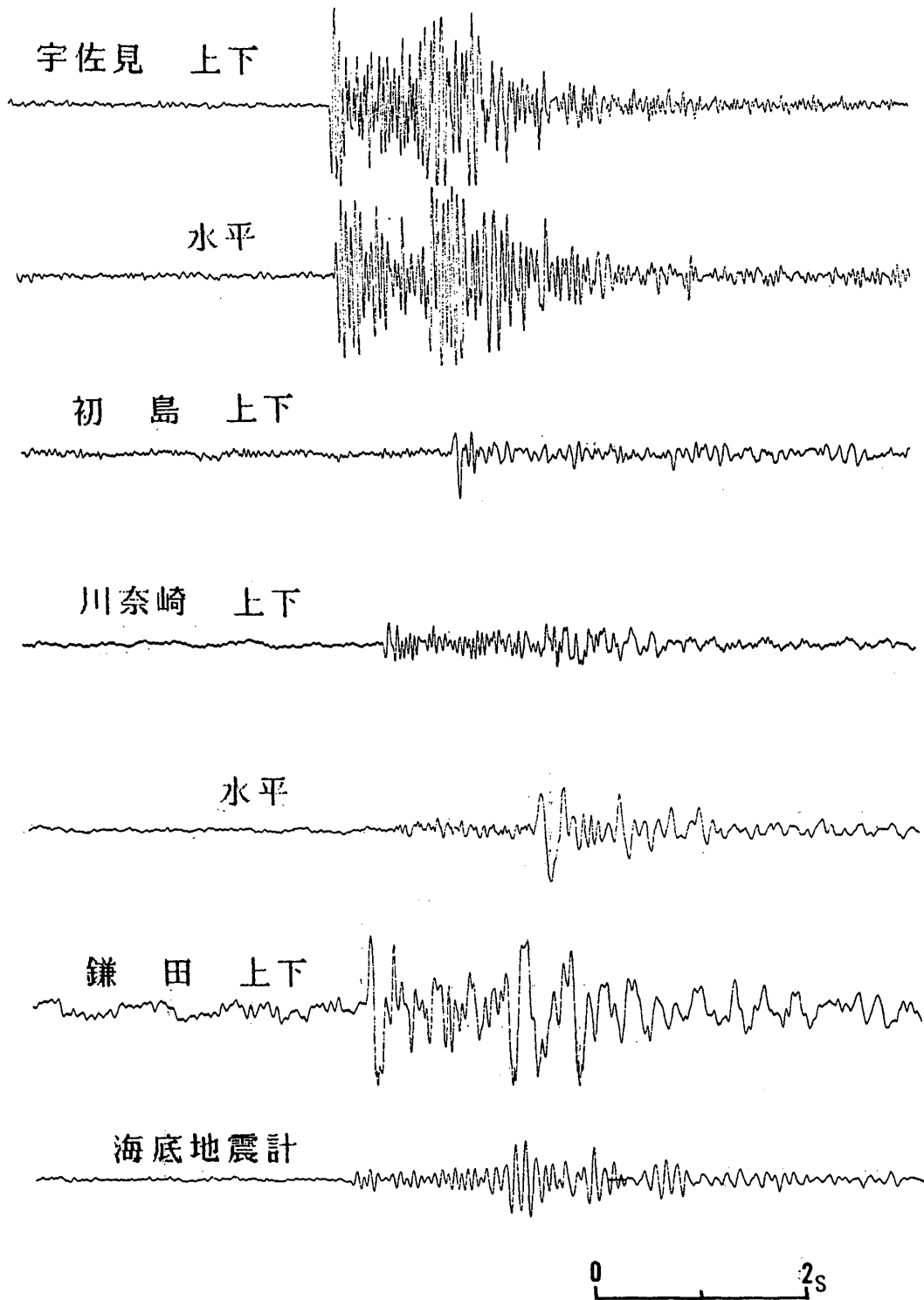
衛星利用の特質として、受信設備を持てばこれらのデータを本所以外のどこにおいてもモニターすることができる。

この観測の実施にあたって日本サテライトネットワーク（株）と明星電気（株）の協力を得た。



第1図 衛星通信による伊東群発地震観測システム

Fig. 1 Seismic observation network by telecommunication satellite system.



第2図 記録例

Fig. 2 Examples of seismic records.